苗半作 適期播種と健苗育成を

□　育苗作業の事前計画をしっかり立てましょう □

■　育苗作業にあせりは禁物　～早すぎる播種は危険がいっぱい～

① 浸種水温が低すぎると籾の活性が低く、芽の伸びも悪くなる

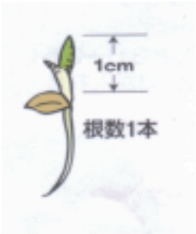
② 播種後の低温による育苗障害

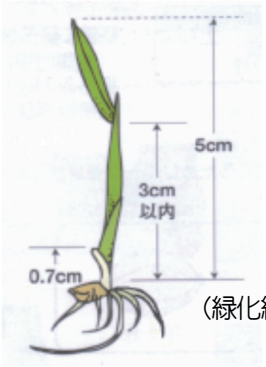
③ 出穂が早まり、高温下での登熟により品質が低下

■　育苗作業について　～育苗時の温度目安～

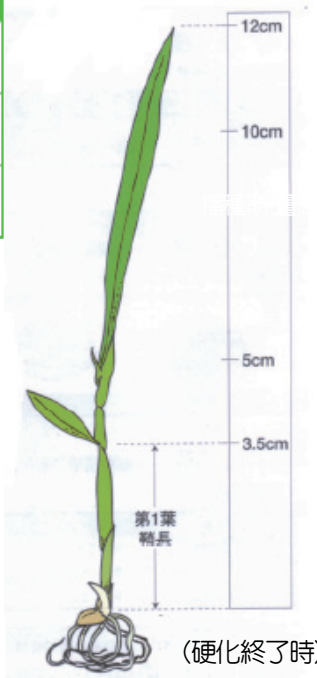
生育時期	苗　丈		温度管理		処理日
			昼間	夜間	
出　芽　期	出芽長	0.5～1 cm	28～30℃	28～30℃	2～3 日
緑　化　期	第一葉鞘長	3.5～4 cm	20～30℃	10～15℃	2～3 日
硬　化　期	苗　丈	12 cm	15～20℃	10℃以上	13～15 日

（出芽終了時）





（緑化終了時）



（硬化終了時）

播種、育苗管理のポイント

● 浸種直後（8～24 時間）の水温は極端に低くならないよう、10℃～15℃の適温に保つようにしましょう。浸種期間は積算水温で 100℃を確保してください。浸種期間が短く不足すると出芽が不揃いになります。

● 出芽揃い（出芽長 0.5～1 cm）を確認してから搬出しましょう。

● ハウス搬出直後は覆土が落ち着く程度のかん水を必ず行い、こまめにハウス内の温度を確認してください。（4 月中旬以降の播種の場合は、保温性の高い被覆資材の使用は避けましょう）

● 水管理においては、原則として朝から昼に1～2回水を与え、夕方に水を与えない管理を行いましょう。但し、過乾燥は苗箱施薬剤の影響により葉が黄化することがあるので、適度な湿り気を保って下さい。

● 遅くとも朝8時頃にはハウスを開放するようにしてください。日最低温度が 10℃を下回らないのであれば、4 月下旬頃からは、夜間も積極的に換気（ハウスの開放）を行いましょう。

代掻きと、逸る気持ちを我慢して、五月中下旬田植えにあわせよう。

平成30年　適期播種・田植え対策

品　　種	日本晴		コシヒカリ・あきさかり		ハナエチゼン
具体的な地区	山　間　地 今庄・白山・坂口	平　坦　地 左記以外の地域	山　間　地 今庄・白山・坂口	平　坦　地 左記以外の地域	全　　域
浸　種　日	3月25日(日)	4月8日(日)	4月12日(木)	4月22日(日)	3月25日(日)
★播　種　日	4月6日(金)	4月19日(木)	4月23日(月)	5月2日(水)	4月6日(金)
発芽苗出荷日	4月９日(月)	4月22日(日)	4月26日(木)	5月5日(土)	4月9日(月)
田　植　日 (硬化苗出荷日)	5月１日(火)	5月10日(木)	5月13日(日)	5月20日(日)	5月１日(火)

播種（浸種）から、今年の稲づくりは始まっています。
浸種日、播種日につきましては、上記日程を必ず厳守願います。

日本晴の播種は山間地4/6、平坦地4/19に
コシヒカリの播種は山間地4/23、平坦地5/2に

作　業	温度管理	作業管理のポイント
浸　種	水　温 １０℃～１５℃	・浸種は、水温変動に注意しながら７～１０日間を目安に（水温×日数の積算が100℃以上） ・浸種開始から３日間は換水しない。 ・病原苗の増殖・感染防止のため２０℃以上では浸種しない。
芽出し （催芽）	育苗器で30℃ 目安　24時間	・芽の長さをこまめにチェック！ ・袋には種籾を入れすぎず、ハト胸状態を目安にムラなく芽出しをしましょう。 ・病原苗の増殖を防ぐため３０℃を超えないようにしましょう。
播　種 出　芽	育苗器の温度は 28～30℃未満	・播種量：乾籾130ｇ～140ｇ ・ダコニール（1,000倍～2,000倍で箱当り１．０㍑）を播種時～緑化期に潅注 ・病原苗の増殖・蔓延防止のため、出芽温度は30℃を超えないように管理しましょう。